# efit+ for TCU Ver.1.4.2.0 アップデート概要

2016年4月 株式会社 ニコン・トリンブル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.4.2.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

## ■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.4.2.0 の製品構成は下記の通りです。

	製品名	コード	備考	改良
ef	it+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	ノンプリズム設定の入力制限値変更
	efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	地籍準則改定対応
	efit+T 測量計算	B-E1-T51		
	efit+T 線形計算	B-E1-T52		
	efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		横断観測修正
	efit+T 平板観測	B-E1-T54		
	efit+T GPS観測	B-E1-T55		
	efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
	efit+T 地籍観測	B-E1-T57		地籍準則改定対応
	efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
	efit+T 定点観測	B-E1-T59		

## 地籍準則改定対応

### 平面観測、地籍観測オプション

#### ◆平面観測

精度検査画面に距離の「セット内較差」と「セット間較差」を追加しました。 制限チェックは、「距離差制限」の値でチェックを行います。



セット内較差:1 セット目の較差/2 セット目の較差を表示します。 セット間較差:1 セット目の平均値と2 セット目の平均値を表示します。

#### ◆図根点観測

● 「図根多角測量」の場合、下表の通りに観測と精度検査が行えるようになりました。

精度区分	甲一/甲二	甲三/乙一	乙二/乙三
対回数	2 対回	1 対回	1 対回
鉛直数	1 対回	1 対回	1 対回
距離セット数	2 セット	2 セット	2 セット
較差制限		20 秒	40 秒
観測差制限	20 秒		
倍角差制限	30 秒		
定数差制限	30 秒	60 秒	60 秒
距離セット間較差	20mm	20mm	20mm
距離セット間較差	20mm	20mm	20mm

●「細部図根測量」の場合、下表の通りに観測と精度検査が行えるようになりました。

			1110 00: 21 = 0:		
精度区分	甲一	甲二	甲三	Z-	乙二/乙三
対回数	2 対回	2 対回	1 対回	1 対回	2 対回
鉛直数	1 対回	1 対回	1 対回	1 対回	1 対回
距離セット数	2 セット	2 セット	2 セット	2 セット	2 セット
較差制限			20 秒	40 秒	
観測差制限	20 秒	40 秒			40 秒
倍角差制限	30 秒	60 秒			60 秒
定数差制限	30 秒	60 秒	60 秒	60 秒	60 秒
距離セット間較差	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm
距離セット間較差	20mm	20mm	20mm	20mm	20mm

● 精度検査画面の距離差を「セット内(1セット/2セット)」と「セット間」に分割します。

積度検査			12 OK 🔀
1対回再測	25	対回再測 観測	やり直し
	観測精	唐度	制限値
観測差		0'	20"
倍角差 (1)		0'	30"
定数左			00
距離差(セット内)		5mm/3mn	n 20mm
距離差(セット間)		1 1 m n	n 20mm
後視点定数  360	J-00-C	ル   観測区分   し	凶根多用
視準点定数  360	)-00-0	10   精度区分	甲一
1対回較差 🚺 🤇	)-00-0	00 1対回倍角	20-00-00
2対回較差 (	)-00-0	10 2対回倍角	20-00-00

精度検査			1	2 OK 🗙
1対回再測	)		観測	かり直し
	観測料	<b></b> 唐度		制限値
較差	ГОТ		0"	20"
倍角差	Г <u></u>		"	"
定数在	$\overline{\circ}$		07	
距離差(セット内)		2mm/	2 m m	20mm
距離差(セット間)	ГО		1 m m	20mm
後視点定数  360	J-00-0	川目観測区分	韷	部凶根
視準点定数  360	)-00-0	10   精度区分		甲三

#### ◆突出点観測

● 検測点の較差の制限を次表のように変更しました。

精度区分	甲一	甲二	三甲	Z-	Z.	ZE
制限	40mm	60mm	100mm	120mm	160mm	200mm

● 検測精度検査画面については変更ありません。(制限値のみ変更)

検測精度検査結果	
● 精度区分:甲一 距離制限:40mm	
 判定結果:OK 距離結果:20mm	
OK キャンセル	

#### ◆筆界点観測

● 検測点の較差の制限を次表のように変更しました。

精度区分	甲一	甲二	甲三	Z-	Z二	ZΞ
制限	30mm	50mm	90mm	120mm	160mm	200mm

● 検測精度検査画面については変更ありません。(制限値のみ変更)



# ■ その他

◆ノンプリズム設定

「UTL→TS 機器設定→ノンプリズム設定」内の「距離レンジの最短距離」の下限値を「2m」から「1m」に変更しました。

ノンプリズム設	<b>定</b>	12 OK 🔀
標準偏差	3	mm
<sub>(</sub> 距離レンジー		
最短距離	1	m
最長距離	300	m

### ♦平面観測

野帳計算の距離丸めを「UTL→環境設定→計算条件」内の「座標丸め(丸め、浮動)」を参照して行うようになりました。

計算条件		12 OK 🔀
座標計算	丸め処理	v 🔼
座標丸め	<mark>九め処理</mark> 浮動処理	
商会がした		
距離丸め	3桁 👽 四捨五入	~
角度丸め	〇桁 🔽 四捨五入	~
真数丸め	浮動 🔽 四捨五入	
倍面積丸め	6桁 🔽 切り捨て	~
面積丸め	7桁 🔽 切り捨て	× v

以上